

メイジ・カカオ・サポート 2023年度活動実績

■メイジ・カカオ・サポート

メイジ・カカオ・サポートは、2006年に始めた明治独自の「カカオ農家支援活動」です。カカオ豆生産の持続可能性を高めるために、産地に直接足を運んだり、さまざまなパートナーと協働したりしながら、カカオ豆の品質向上への技術支援や農家の生活向上、地域の環境保全・回復等の社会課題解決に取り組んでいます。さらに、この活動の維持・推進のために、カカオ豆調達時にプレミアム価格で購入しています。

■明治サステナブルカカオ豆

メイジ・カカオ・サポートを通じ、農家支援を実施した地域で生産されたカカオ豆

■明治サステナブルカカオ豆の調達率

明治は、2026年度までに「明治サステナブルカカオ豆」の調達比率100%を目指しています。

2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	2026年度目標
40%	42%	62%	62%	100%

■メイジ・カカオ・サポートの具体的な取り組み

メイジ・カカオ・サポートは、アフリカ・中南米・アジアのカカオ産地にまで広がり、現在以下の9か国で展開しています。

アフリカ	中南米	アジア
<ul style="list-style-type: none">・ガーナ共和国・マダガスカル共和国	<ul style="list-style-type: none">・ブラジル連邦共和国・ドミニカ共和国・エクアドル共和国・メキシコ合衆国・ペルー共和国・ベネズエラ・ボリバル共和国	<ul style="list-style-type: none">・ベトナム社会主義共和国

1. 農園までのトレーサビリティの確立

持続可能なカカオ豆生産の実現にはトレーサビリティが最重要と捉え、2026年度までに、すべての調達先において農園までのトレーサビリティの確立を目指しています。

調達国	2023 年度	2022 年度
ブラジル連邦共和国	100%	100%
ドミニカ共和国		
エクアドル共和国		
メキシコ合衆国		
ベトナム社会主義共和国		
ガーナ共和国	51%	47%

2. 児童労働撤廃に向けた取り組み

すべての調達先において、児童労働監視改善システム（CLMRS[※]）もしくは同等のシステムを順次導入し、児童労働ゼロを目指しています。

STEP 1：2026 年度までにガーナ共和国 ▶ STEP 2：2030 年度までにその他の調達先

※CLMRS とは、カカオ生産地での児童労働・強制労働撲滅を目指す NPO「International Cocoa Initiative」が開発した児童労働監視改善システム（Child Labor Monitoring and Remediation Systems）です。児童労働の事例を特定し、監視、是正、および防止する取り組みを行っています。

CLMRS 導入率[※]

対象	2022 年 10 月～2023 年 9 月
ガーナ共和国	47.6%
全ての調達先	36.7%

※導入済農家のカカオ豆の調達量から算出。

< ガーナ共和国 >

CLMRS	2022 年 10 月～2023 年 9 月
CLMRS 導入農家数	5,460 軒
児童労働と特定された数	650 人
そのうち是正済の数	650 人

3. 森林減少への取り組み

すべての調達先において、GPS マッピングなどによる農園の実態把握を行い、森林の保護・回復につとめ、森林減少ゼロを目指しています。

STEP1：2026 年度までにガーナ共和国 ▶ STEP2：2030 年度までにその他調達先

GPS マッピングによる実態把握率[※]

対象	2022 年 10 月～2023 年 9 月
ガーナ共和国	54.9%
すべての調達先	57.5%

※実態把握済農家のカカオ豆の調達量から算出。

<ガーナ共和国>

(1) 森林教育

調達先の農家に対して、Cocoa & Forests Initiative の理念に基づき、森林保護や回復に関する情報提供や農業生産工程管理に関する教育を実施しています。

	2022年10月～2023年9月
クライメートスマート・カカオ・トレーニング ※実施農家数 (※森林破壊と自然環境システムの回復に関する啓発)	4,495 軒
GAP(Good Agricultural Practice)トレーニング ※実施農家数 (※食品安全・労働安全・環境保全・人権保護を確保することで持続可能な農業を実現する取り組み)	3,704 軒

(2) 森林減少の確認

現地パートナーと協働し、調達先の農園が森林減少へ関与していないかを確認するため、マッピングと訪問調査を実施しています。

	2022年10月～2023年9月
マッピング農家数	5,365 軒
森林保護区に存在する農園数	54 軒
そのうち是正過程にある農家数 (サプライチェーンから除外済)	54 軒

(3) 森林保全活動

カカオ農園およびその周辺地域における森林環境と生態系の維持・回復を促進することを目的に、さまざまな種類の苗を配布し、カカオの木の保護、農地の土壌改善に貢献しています。

苗	累計	2022年10月～23年9月
多目的樹木	144,680 本	20,000 本
カカオ苗	243,563 本	11,879 本
野菜苗	100,000 本	—
シェードツリー	25,500 本	—

4. アグロフォレストリー農法の推進 <ブラジル連邦共和国・ガーナ共和国>

明治では、2009年よりカカオ豆の共同品質研究を行うブラジル・トメアスーのカカオ農家とともに、「アグロフォレストリー」に取り組んでいます。この農法により、単一栽培では難しい持続的な生産が可能になり、カカオ以外の農作物も収穫や、農家の収入の安定に繋がっています。

また、ガーナ共和国においては、ガーナ政府認定 NGO「おはようガーナ基金」が運営する試験農園の支援を 2020 年から開始し、作物や栽培方法の試行錯誤を続けています。

アグロフォレストリー農法の取り組みについてはこちら：

https://www.meiji.com/sustainability/cocoa/forest_protection/

<https://www.meiji.co.jp/products/brand/agroforestry/>

5. 現地に寄り添った支援活動

カカオ産地の人々が抱える課題を一緒に解決することで、その地域や地域に住む人々を含め、カカオに携わるすべての人々が持続可能に過ごしていけることを願っています。そのために、私たちは常に産地の人々に寄り添い、その産地の時々の実情に合わせ、生活向上や生産性向上および収益性向上に繋がる支援をしています。

地域別の支援活動の詳細についてはこちら：

<https://www.meiji.com/sustainability/cocoa/farmers/>

(1) カカオ苗配布

国名	開始以降の 累計	直近 3 年間の実績		
		2023 年度	2022 年度	2021 年度
ベネズエラ・ボリバル共和国	186,380 本	16,000 本	25,750 本	26,000 本
ベトナム社会主義共和国	7,000 本	—	—	7,000 本
ブラジル	1,750 本	1,750 本		
メキシコ合衆国	7,500 本	—	—	—

(2) 肥料配布

国名	開始以降の 累計	直近 3 年間の実績		
		2023 年度	2022 年度	2021 年度
ブラジル連邦共和国	21,578 袋	1,280 袋	2,340 袋	860 袋

(3) 農機具無償貸出（ツールバンク）

現地パートナーと共同で、2017 年よりペルーの 3 地域のカカオ豆集荷所に「カカオ農機具バンク」を設立し、維持しています。これにより、カカオ農家は剪定、除草、農薬散布などに使用する農機具を無料で借りることができます。

(4) 発酵法などの技術支援

カカオの特徴的な香味を引き出すには、品種・発酵・乾燥工程が重要です。その地域に適した

独自の発酵法で、品質の良いカカオ豆を生産するために、発酵箱を寄贈しています。継続的な活動を通じて、技術・収益の面で農家を支援しています。

国名	開始以降の 累計	直近3年間の実績		
		2023年度	2022年度	2021年度
ペルー共和国	58個	7個	16個	6個
ベネズエラ・ボリバル共和国	30個	5個	5個	5個

(5) 農作業の支援

カカオ豆を購入している農園の作業効率化や農薬への曝露軽減のために、農業資材や防護服を提供しています。

国名	提供品	開始以降の 累計	直近3年間の実績		
			2023年度	2022年度	2021年度
エクアドル 共和国	剪定機	29台	—	7	—
	剪定器具セット (鋸・鋏・帽子・水筒など)	108セット	22セット	—	86セット
	除草機	49台	22台	12台	—
	噴霧器	22台	22台	—	—
	防護服	630枚	—	—	370枚

(6) ゴミ分別箱の寄贈

ドミニカ共和国の行政によるゴミ回収サービスが行き届いていない地域では、環境悪化が問題になっています。明治は、カカオ栽培地域周辺における資源ごみのリサイクル・システム確立をサポートするために、住民への環境に関する啓蒙活動とともに分別箱の寄贈を進めてきました。こうした活動により、住民の意識が向上し、カカオ農園や周辺地域の環境改善が進んでいます。

国名	開始以降の 累計	直近3年間の実績		
		2023年度	2022年度	2021年度
ドミニカ共和国	165箱	33箱	36箱	60箱

(7) チョコレートクラス/アートクラス

ガーナでは、「チョコレートクラス」を開講し、子供たちがカカオに関する知識を学び、自分の村で収穫されたカカオ豆を用いてチョコレートを手づくりして、その味を楽しんでもらう活動をしています。また、「アートクラス」を開講し、絵の具やクレヨンを使用してカカオをテ

ーマにした絵画や工作を通じて、カカオへの関心を高めてもらう試みも行ってきました。こうした活動を通じて、子どもたちにカカオの魅力や価値、カカオ農業の重要性について理解を深めてもらう機会を提供しています。

(8) 村内貯蓄貸付組合 (VSLA) による農家のエンパワーメント

VSLA (Village Savings and Loan Association)は、銀行やマイクロファイナンス機関のサービスへのアクセスが難しいコミュニティの農家が自ら立ち上げ、運営している村内貯蓄貸付組合です。ガーナの農家の方々は自らグループをつくり、メンバーの貯蓄管理と貸付を行います。メンバーは借りた資金を、農業資材の購入や新しい商売の立ち上げ、子供の養育費などに充てることができます。また、定期的に行われる会合では、お金の管理などについて協議することで、メンバー同士の理解や結束を強化する役割も果たしています。明治はこうした形で農家やコミュニティの自立を支援する活動も行っています。

VSLA	2022年10月~23年9月	2021年10月~22年9月
VSLA 新規設立数	5	2
VSLA 参加人数	106人	60人
そのうち女性の数	69人	41人
貯蓄された金額	GHS 35,136	GHS 18,725
貯蓄から融資として活用された金額	GHS 11,175	GHS 16,350

(GHS=ガーナセディ)